令和4年瑞穂町教育委員会第11回定例会 会議録

令和4年11月24日瑞穂町教育委員会第11回定例会が庁舎3階の会議室(3-2)に招集された。

- 1 出席委員は、次のとおりである。 1番 滝澤 福一 君 ・ 2番 関谷 忠 君 ・ 3番 中野 裕司 君 ・ 4番 村上 豊子 君
- 1 欠席委員は、次のとおりである。 なし
- 1 説明のため出席した者の職氏名は、次のとおりである。 教育長 鳥海 俊身 君・教育部長 小峰 芳行 君・学校教育課長 大澤 達哉 君・教育指導課長 小林 洋之 君・教育指導課 統括指導主事 稲冨 泰輝 君・社会教育課長 佐久間 裕之 君・図書館長 町田 陽生 君 庶務係長(事務局) 栗原 崇行 君
- 1 本日の傍聴者 なし
- 1 本日の議事日程は、次のとおりである。
- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 教育長業務報告
- 日程第3 議案第34号 令和4年度一般会計補正予算(第8号)の原案中教育に関する部分の意見聴取について

日程第4 協議事項1 令和5年度一般会計教育費予算の編成について

開会 午後1時30分

鳥海教育長

ただいまの出席委員は、4名であります。定足数に達しておりますので、これより令和4年瑞穂町教育委員会第11回定例会を開会いたします。ただちに本会議を開きます。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、会議規則第28条の規定により教育長において1番、滝澤委員を指名いたします。

鳥海教育長

日程第2、教育長業務報告を行います。教育長業務報告については、別紙、記載のとおりであります。 今までの報告で何かご質問はございませんでしょうか。

(「質問なし」の声)

鳥海教育長

ご質問もないようですので、以上で業務報告は終了いたします。

鳥海教育長

日程第3、議案第34号、令和4年度一般会計補正予算(第8号)の原案中教育に関する部分の意見聴取 について、を議題とします。教育部長より提案理由の説明を求めます。

教育部長

議案第34号については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、令和4年度 一般会計補正予算(第8号)の原案中、教育に関する事務に係る部分について、意見を求められたので本案 を提出するものです。

主な内容について説明いたします。1枚おめくりください。まず、歳入です。

ナンバー1から3については、それぞれの科目名称の事業について交付額が確定したことによる追加、減

額です。ナンバー4は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う事業中止による、参加者負担金等の減額です。

1 枚おめくりください。このページから歳出です。主な内容について、科目名称と理由を説明します。契約差金、実績に伴う増額、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う事業の中止等についての説明は省略します。

ナンバー1、羽村・瑞穂地区学校給食組合負担金は、羽村市、瑞穂町の令和4年度の負担割合が確定したことから増額補正します。ナンバー3は、瑞中7組、特別支援学級の生徒数の増加に伴い、校外学習の介助員の旅費及び令和4年度から配置された部活動指導員の遠征旅費を増額するものです。ナンバー6から10及びナンバー15、16、26、30は電気料金の高騰に伴う増額です。ナンバー13、14は、第二小学校が現在の9クラスが、令和5年度に11クラスになりことに伴い、机、イス等の必要となる備品を購入するものです。ナンバー18は、先ほどナンバー3で説明した、瑞中7組の生徒数の増加に伴い、増員となった介助員の校外学習の入場料等を増額するものです。ナンバー19、青少年の主張応募者賞品は、応募者の増に伴い増額補正します。ナンバー28、29は、コロナ禍において、各種事業の実施代替施設としてスカイホールの利用が増えたことに伴い増額補正するものです。ナンバー36は、町営第2庭球場だれでもトイレ設置工事において、地中からコンクリートガラ等が発見されたため、撤去費用を増額します。

説明は以上です。

鳥海教育長 鳥海教育長 以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご質疑はございませんでしょうか。

ご質疑もないようですので、質疑を終結いたします。

これより議案第34号に対する討論を行います。

(「討論なし」の声)

討論なしと認めます。それではお諮りします。議案第34号を原案どおり決定することにご異議はござ

いませんでしょうか。

(「異議なし」の声)

ご異議なしと認め、議案第34号は原案どおり可決されました。

鳥海教育長 教育部長

日程第4、協議事項1、令和5年度一般会計教育費予算の編成について、教育部長より説明を求めます。 協議事項1については、令和5年度一般会計教育費予算を編成する必要があるため、協議させていただく ものです。

1枚おめくりください。この資料は、10月21日に町長から示された「令和5年度予算編成方針」の写 しです。概要について説明させていただきます。

「1 はじめに」とありますが、この項目では令和5年度の町の予算に対する方針がまとめられています。ページをおめくりいただき、2ページ2段落目、方針のまとめとして、「令和3年度からスタートした第5次長期総合計画に示した各施策の推進に向け、これからのまちづくりを念頭におきながら、事業展開を図る戦略的な予算編成を指示します。」とされています。

2として、「国の経済の動き」、3として「国・東京都の予算編成の動き」が記されています。4として「令和5年度瑞穂町予算に反映させるべき重点事項」では、特に重点を置く施策、12項目が示されています。 多摩都市モノレール箱根ケ崎方面延伸を契機とした、新たな町づくりの方向性、町の魅力を効果的に発信し、多くの人を呼び込むシティプロモーション戦略を示すことや、産業、行政のデジタル化の更なる推進などです。

教育委員会関連項目は、⑪、⑫で、「障がい児等、支援が必要な子供たちのために施策の拡充を検討すること。」、「新たなまちづくりに向け、未来の瑞穂町を担う人材を輩出するため、児童・生徒の郷土愛を醸成するとともに、基礎学力の向上を図ること。」と記されています。

5として「令和5年度予算編成に向けた基本的視点」が示されています。ここでは、第5次長期総合計画

に掲げた各種施策及び第6次行政改革大綱実施細目に基づき編成に臨むことが示されています。

令和4年度予算編成時から変わった内容は、歳入では、③ふるさと納税やクラウドファンディングなど新たな財源確保((例)企業・個人からの寄附等)に向けた検討を進めること。歳出は大きく変更はありませんが、③では、限られた財源を適切かつ有効に活用するという観点から、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、中止及び延期や縮小となった事業等について、当該事業の必要性や実施内容を改めて分析するとともに、ウイズコロナにおける事業の在り方を検討し、事業を抜本的に精査した上で予算計上することなど、抜本的な見直しや効率化への取り組みが記されています。

以上が令和5年度予算編成方針の概要ですが、歳出の各種経費は、ゼロシーリング、伸び率はゼロで令和4年度と同額を基本とするなど大変厳しい内容で、現在、この予算編成方針の趣旨を踏まえ予算編成を行っています。

説明は以上です。

鳥海教育長 村上委員

以上で説明が終わりました。これより協議いたします。ご意見またはご質問はございますでしょうか。

3ページの⑫のところに、未来の瑞穂町を担う人材を輩出するため、児童・生徒の郷土愛を醸成するとともに、基礎学力の向上を図ること、とあるのですが、この辺のところは「みずほ学」によるところが大きいのかなと、この点をどのように予算化するのか、具体的に教育委員会の方針の中でこういう風に進めていこうということがあれば教えていただきたいと思います。

教育指導課長

地域学校協働本部をこれからも進めていくということで、これまで一律の活動をお願いしていたところなんですけれども、今後、それぞれの学校、そして地域の自発的、自主的な活動を促すことによって必要なところに必要な予算を手当てできるようにしていこうと考えています。

村上委員

コロナで大分、地域と学校との交流が少し停滞しているというようなところも見られるので、そういうと ころを支援していくということが、地域の人も動きやすくなるのかなと思いますのでよろしくお願いします。 少し補足させていただきます。この予算編成方針に書かれている、特に⑫のところの書き方、これは今ま でやってきた、特に学校教育の取組、それを追認してくれているということだと思います。新たな書きっぷ

鳥海教育長

りがあるわけではなくですね、予算編成の前にですね、各課の事業のヒアリングを行ったりしているわけなんですね。この中で、実は、再編交付金を原資とした基金、これを活用して特に人件費において学習サポーターの数を他所と比べて多く配置しているところです。この基金は使い切りであるという性格もあり、枯渇してくるわけなんですね。その中でそれを次に結び付けていく、まるっきり無くしてしまうということではなく、いろいろと考えているということも財政当局に説明をしていて、財政的な裏付けをとっているということも町側も理解してくれていると、この中で同じように進めていくことについては、このような形で追認してくれているという風に私は解釈しているところです。

村上委員

町からしっかりやってくださいということで認めてもらっているということであれば、やはりコロナによって、多分水面下ではいろいろと動きがあるんでしょうけれども、見えてこない部分というのも大きくて、そこのところは、地域の人間にしてみると、もう少し学校に協力してもらいたいんだけれどもと思っている人もたくさんいらっしゃると思うので、そういう人の掘り起こしを学校にも促していただければと思います。

鳥海教育長

これについては、コロナの状況を考えながらということで、コロナが始まった時には、どういう感染症かもよくわからないということから、完全にシャットダウンする、徹底的な消毒であったりとか、そういう風なところだったわけですね。活動についても相当制限してきました。この感染症の性質がわかってきた中では、経験値として活動を徐々に元に戻すところなんですね。子どもたちが外に出ていくとか、社会科見学的なことだとか、修学旅行・日光移動教室を行うとか、そういうところはかなり元に戻ってきている中で、今、一番遅れているのが地域人材に学校に来てもらって、いろいろな、特に「みずほ学」に資するようなことをやっていただいていた部分、これがやはり学校内に外部の人が多く来るということの制限が一番最後になってしまっています。村上委員がおっしゃる点については、今、まだ不十分であるということは認識しているところです。早く、全部元に戻ればいいんですけれども、コロナの状況を注視しながら来年度に向けてやっていくというところです。

鳥海教育長

ほかにございますか。

関谷委員

先だって中学校のスキー教室が経済的な事情もあって、実施が危ぶまれているという話を聞いたところな

んですが、地域によるものなのか、学校と学校の格差があるのか、その辺のところで、何か公的な援助ができないのかと考えるところなんですね。同じ子どもで、あの子が行けないからその行事がやれないというのはちょっと残念に思っているところです。

教育指導課長

スキー教室の見直しについては、校長の経営方針によるところも大きく、学校で編成した教育課程を具現化するためにスキー教室と日ごろ行っている教育活動と関連付けを図って、学校の教育目標に近づけるようにするために、より適した学校行事を生徒と教員で考え直したいというところがあります。瑞穂中と瑞穂二中で経済的な状況については、大きな差はないと考えています。

鳥海教育長

補足させていただきますと、生徒の個人負担の大きいものとしては、一番は修学旅行、その次に卒業年度の卒業アルバム代とか、保護者負担をしていただいているわけです。このスキー教室というのもやはり、2泊3日で行きますから、もちろん町の補助の枠組みの中で補助を出しているわけですけれども、それでもやはり経済的負担感が大きいということであるという風に認識しています。その中で特に二中の方はですね、そういう状況を考えたときに行事を少し考えてみたいというような校長の意見があるということでございます。

これで、教育委員会の独自の施策としてではなくて、学校経営の中でやってもらっている事業でありますので、それではそちらで良く検討してもらって、保護者負担を軽減できるようなことも視野に入れつつ、事業を再編したいという思いがあるという風に伺っているところです。

鳥海教育長

ほかにございますか。

鳥海教育長

私から1つ、この町長が発出した予算編成方針の中で、実は書いてあることは大体財政的に厳しいとか、そのようなことが書かれて、予算編成にはゼロシーリング、これは決まり文句というような感じで書いてある中で、去年までと今回の違いのところで、4ページの(1)歳入の④のところで、ア・イ・ウとなっているところのウのところなんですけれども、地方債の活用というのが今回新たに加わりました。地方債というのは要は借金ですね、起債をする、このように文言で書くほど、やはり財政的には厳しくなってきているのかなと、今までもこういう制度とかあって起債をする、特に建設事業では起債をするのが、普通にやってい

ることなんですけれども、特にここに書き加えたというような状況があるという風に感じました。

このことも庁議という場で質問したんですが、やはり認識としては厳しくなってきているものがあって、 普通交付税交付団体になっているような状況から、こういう起債というものの活用も視野に入れて予算編成 しなければならないという状況、それを書き加えたなという風に思っております。

鳥海教育長

ほかにご意見等ないようですので、協議を終結いたします。これよりお諮りいたします。協議事項1については原案どおり承認することにご異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声)

異議なしと認め、協議事項1については原案どおり承認されました。

鳥海教育長

以上をもちまして、本定例会に付議された案件は、すべて終了いたしました。 これにて令和4年瑞穂町教育委員会第11回定例会を閉会いたします。ご苦労様でした。

閉会 午後1時53分

この会議録は、書記の記載したものであるが正確を証するためにここに署名いたします。

瑞穂町教育委員会教育長

瑞穂町教育委員会委員